

地方創生

ひと
しごとを
創り出し
活力ある
下呂市に!!



下呂市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

下呂市の人口は、近年減少を
続け、平成27年の国勢調査を基
本に試算した国立社会保障・人
口問題研究所の推計値では、令
和22年に約2万1千人まで減少
し、生産年齢人口の減少、少子
高齢化がさらに進行する見込み
となっています。
推計どおり人口減少が進む
と、労働力や消費活動の減少に
より、経済規模が縮小、税収減

4つの基本目標および成果指標

基本目標
3



若い世代の「未来」を応援する

～結婚・出産・子育ての「希望」をかなえます～

成果指標	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 目標値
⑤出産・子育てのしやすい環境だと感じる市民の割合	36.4%	37.8%	50.0%
⑥下呂市に住み続けたい、戻りたいと考える高校生の割合	40.8%	36.0%	60.0%

基本目標
1



しごとをつくる

～働く場を確保し、就業を促進します～

成果指標	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 目標値
①魅力的な「しごと」をしていると感じる市民の割合	65.3%	66.9%	70.0%
②市内新規就職者数	440人	478人	522人

基本目標
4



まちを育て、まちをつなぐ

～安心して暮らせる「まち」にします～

成果指標	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 目標値
⑦コミュニティ再生プランの策定(新たな地域づくり計画)地域数	0.00%	0.00%	50.0%
⑧近所での助け合いや地域のつながりがあると感じる市民の割合	74.6%	74.8%	90.0%

基本目標
2



下呂市に呼び込む

～魅力を伝え、新しい人の流れをつくります～

成果指標	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 目標値
③社会減数(人口)	▲287人	▲211人	▲222人
④移住・定住の推進により地域が活性化していると感じる市民の割合	35.6%	33.9%	50.0%

【成果指標の根拠、出所】 ①④⑤⑧…市民生活アンケート
③…岐阜県人口動態統計調査

②…下呂市地域職業相談室取扱状況(高山公共職業安定所)
⑥…高校生アンケート

や社会保障費の増大など、本市の総合的な地域活力を低下させるため、社会経済環境を維持していくことが困難となります。

この現状に歯止めをかけ、地域経済を維持・成長させるために、「下呂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年1月に策定しました。

本戦略では、4つの基本目標と成果指標を設定し、各分野の課題に対して、オール下呂で取り組んでいます。

この度、平成30年度における成果指標の実績値を更新しましたので公表します。

【企画課】

地方創生推進交付金事業

地方創生推進交付金とは、地方創生の充実・強化を支援することを目的として、各自治体の総合戦略に位置付けられた自主的かつ主体的な取り組みを支援するため、国から交付される交付金です。

下呂市では、本交付金を活用して岐阜県をはじめ飛騨3市1村や中津川市と連携し、事業を実施しています。平成30年度に実施した事業について紹介します。

4. 飛騨地域移住・定住促進連携事業

事業費：2,560,818円（うち交付金1,198,000円）

目的

飛騨3市1村（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）が連携して、飛騨地域への移住を考える首都圏在住者を対象に、移住相談会の開催、飛騨地域での就業体験や先輩移住者との交流などを行うことにより、飛騨地域への移住を促進します。

主な取り組み

移住を検討している人が抱えている仕事探しの悩みを解消し、求職者と求人者のマッチングを図るため、民間大手の求人専門事業者のサイト内に飛騨地域求人ページを開設しました。また、移住相談会や首都圏での移住検討者交流イベントなどを開催し、飛騨地域への移住を促進しました。

5. ぎふ・歴史街道観光事業

事業費：2,000,000円（うち交付金1,000,000円）

目的

岐阜県、下呂市、中津川市が連携して国道257号沿線の魅力創出を図ることで誘客、観光消費額の増加を目指します。

主な取り組み

国道257号沿線の更なる魅力創出を図るため、観光関連事業者と連携し、昨年度システム構築を行った「下呂温泉+体験」連携を持続的に進めるとともに、販売促進や新しい宿泊滞在型商品の造成に向けたプロモーション、情報発信を行いました。また、外国人旅行者の更なる誘客を図るため、民間事業者との連携により、フリーパスきっぷを活用した誘客促進や海外に向けたプロモーションを展開しました。



地方創生推進交付金事業の詳細な効果検証について、市ホームページにてお知らせしています。

1. ふるさと納税を活用した女性の働き方改革推進事業

事業費：15,980,733円（うち交付金4,743,461円）

目的

働く場所を確保し、就業を促進するため「今あるしごと」の魅力を高めます。特に女性の働き方改革に取り組むことにより、市外への人口流出を防止し、移住・定住者の確保により地域の活性化を図ります。

主な取り組み

働きながら子育てを可能とするモデルの確立、就業マッチングに取り組むことで女性の就業機会を広げるため、下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設「下呂市オーガニックワークプレイス」を整備し、3月から供用開始しました。



2. 中小製造業活性化・人材確保プロジェクト

事業費：184,760円（うち交付金92,380円）

目的

食料品分野において、岐阜県と下呂市が連携し、市の特産品である「エゴマ」を利用した加工食品などの研究開発を実施し、地域の働く場の確保、稼ぐ力の向上を実現します。

主な取り組み

岐阜県と連携し、本市の特産品であるエゴマ関連商品の販路拡大や販売促進に向け、市内外でのPR活動を実施しました。エゴマの新品種「飛騨小坂おんたけ1号」が出願公表され、認知度のアップにつながりました。

3. 飛騨地域ツーリズム推進連携事業

事業費：2,510,223円（うち交付金1,123,761円）

目的

飛騨3市1村（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）が連携して、海外からの誘客をさらに推進し、自立的で持続的な社会の創出を目指します。

主な取り組み

欧州からの誘客と地場産品の流通促進を図るため、観光展への参加や海外メディアの招へいを行ったほか、地域通訳案内士の養成講座を開催しました。